



平成 26 年 5 月 1 日現在	
世帯数	939戸
人口	2,448人
男	1,223人
女	1,225人

新任あいさつ



内田地区町会連合
会長 浦山信義

発足しましたが、出張所・地区公民館・福祉ひろばは、今までと変わりなく住民の窓口として対応します。

四月を迎え百花繚乱の春となり生命の躍動が始まりました。入学、就職など希望に胸をふくらませた若人の門出に祝福を送り、将来に期待したいところです。

今年度、内田町会連合会長の委嘱を受けました浦山信義です。若輩者であり、今まで輝かしき実績を残された諸兄の足下にも及ばず、重責に毎日戦戦恐恐としている状態であります。関係の方々をはじめ、地域の皆様の理解協力を得て取り組んでまいりますので宜しくお願いいたします。

松本市では四月一日、行政改革により松本市内35地区に「地域づくりセンター」が

また、「地域づくり」を進めるにあたり、町会連合会を主体に、関係団体の参加を得ながら、五月から本格的に取り組みを始めます。

特に本年度は、文化財保存事業と地区事業の活性化を地域の皆様と取り組みますので、参加をお願いします。

さて、「地域づくり」の言葉が使われるようになり多くの地域の人から「『地域づく

り』って何ですか」との質問がありました。「地域づくりは、そこに住む人とまちが元気になること」であることを説明していますが、地域の理解を得られないと前へ進むことができません。内田地区の将来を見据えた取り組みが求められます。

内田地域全体で地域づくりに取り組んでまいりますので理解協力方お願いいたします。



内田公民館長
中 嶋 義 昭

さわやかな風と新緑が目に見える季節となりました。この度、地区の推薦を受け公民館長に就任いたしました。

非力でその器でない私がこの重責に耐えられるか不安でいっぱいですが、皆様のご指導とご協力を頂きながら、公民館の運営に誠意を尽くし努めてまいりたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

公民館は生涯学習の拠点として、また地域の拠点として、そこに生活をしている住民が自らの手で郷土を拓く

という役割を果たしてきていると思います。その点で内田地区は諸先輩や地域の皆様の創意と熱意によって幅広い活動を展開し、今日まで進化を続けてまいりました。今後はその基盤の上に立つてさらに住みよい地域を目指し、何ができるかを考え取り組んでまいりたいと思っております。

さて、公民館は地域づくりを地域課題の学習で担っていく役割があります。社会情勢はますます複雑化しています。公民館は我々地域住民のもっとも身近で自由に学べる場所ですが、単に伝統や文化等を継承していくのではありません。多くの人たちが集い、学び合い、地域の実情に応じながら実生活に即した活動をする場として、地区事業や学習講座各種委員会、ボランティア活動等を通して、課題と学習を結びつけ、みんなで解決に向けた活動を展開していく必要があると考えております。

今後とも、地域の絆、コミュニティづくりのために皆様の積極的な参加や提言をお願いしてご挨拶いたします。

人事往来(新任職員)

- 明善小学校 教頭 高野 毅
- 明善中学校 教頭 北沢 清二
- 芳川消防署 署長 百瀬 涉
- 内田公民館 館長 中嶋 義昭
- 内田地区地域づくりセンター (内田出張所・公民館)

役員紹介

町会長 (〇印は新任)

- 1 前澤 幸人
- 2 〇滝澤 善隆 (会計)
- 3 浦山 信義 (連合会長)
- 4 〇百瀬 博久
- 5 輪湖 澄男 (副会長)
- 6 〇春日 睦美
- 7 三村 義博
- 8 〇宮坂 喜美雄
- 9 丸山 誠一

子ども会育成会

- 1 一ノ瀬修一 (会長)
- 3 宮越 淳子 (会計)
- 8 大洞 祥子 (副会長)
- 1 上條真智子 (副会長)
- 9 三村江梨子 (副会長)
- 9 浅野みず紀 (副会長)
- 明善小学校 PTA 内田支部
- 第1支部長 植田 紀子
- 第2支部長 滝野 美紀
- 青少年補導委員
- 6 丸山千賀子

ササラ踊り保存会

会長 浦山 信義 (連合会長)

ササラ踊り実行会

会長 横山 佳博

新任あいさつ



内田地区地域づくりセンター
(出張所窓口担当)
高橋菜緒

この四月より内田出張所に異動になりました。高橋菜緒と申します。

内田地区は、とても景色が良く自然豊かで、とても良い地区だという印象です。出張所では、住民票の取得、福祉医療の手続き、児童手当の申請など他にも様々な手続きが可能です。なにか少しでも困ったことがございましたらお気軽に窓口へ来ていただければと思います。

まだまだ、慣れないことばかりで、皆様にご迷惑をおかけしています。できるだけ早く地域の事を知り皆様のお役に立てればと考えておりますので、よろしくお願いたします。



内田地区地域づくりセンター
(出張所窓口・公民館担当)
保屋野宏江

四月より、内田地区地域づくりセンターでお世話になっております保屋野と申します。

以前、馬場家住宅に勤務してまいりましたので、この素晴らしい景色と温かい内田の皆様に再びお会いすることができ、懐かしいふる里に戻って来たようで大変嬉しく思っています。

これから住民の皆様様の様々な活動を精一杯お手伝いして行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

「地域づくりセンター」ってなに?

今年度から市内35地区に「地域づくりセンター」が設置されました。

設置されたといっても、「今までとどこが違うの？」と思われる方も多いと思います。事実、「センター」の看板が設置され、職員もセンター職員の兼務または併任となっております。また、やっていることは今までと変わりなく見えます。

では、「地域づくりセンター」とは何かというと、公民館・出張所・福祉ひろばが、それぞれ機能はそのままに、一体化して地域づくり(地域振興)の支援等をしていくための市の組織の名称です。つまり、窓口業務などの機能は今までとかわりありません。

また、地域づくりは地域住民の皆さんあつてのことです。から、内田地区では「地域づくり協議会」を発足させ、住民が主体的に地域づくりに関わっていくことにしています。

この住民の組織である「地域づくり協議会」が主体となつて、地区の状況に応じた地域づくりを進めていくことを、市として支援していくというのが「地域づくりセンター」ということになります。

消防団にご協力を

今年度、21分団は丸山分団長のもと45名の団員で新たなスタートを切り、四月には初仕事として、内田地区にある37の防火水槽と、85の消火栓の点検を行いました。

今年の冬は二度の大雪に見舞われましたが、私たちは火災に備えて雪の中、地区内の防火水槽と消火栓の掘り出し作業を行いました。また、冬場は凍結防止の為に、消火栓の口にアルコールも入れていきます。これからの季節は、消火栓ボックス内に雨水や泥などが溜まつてしま



うので、それらの除去も行う必要があります。以上は、活動の一部ですがこうした、「小さな」活動を積み重ねていくことが、災害に直面した時の「大きな」力となると考えます。皆様も、身

近な道路にある黄色いマンホールの消火栓の場所、ホース格納ボックスの位置を再度確認して下さい。消防団はそれぞれが職業を持ちながら活動しています。活動を通して、地域に貢献するだけでなく、同じ地域で暮らす方と親しくなれる良さがあります。消防団に興味のある方や、参加してみたいと思われた方は、内田公民館または消防団員に気軽に声をかけて下さい。一緒に活動して下さい。団員を募集しています。

今後内田消防団へのご協力をよろしくお願致します。

二十一分団 福島 栄三

つれづれ編集記

今年の春は、とても待ちどおしい年になりました。

昨年の十一月より、勤務先が北松本より本社がある北穂高に統合され、通勤距離が今までの倍以上になり、通勤時間が片道一時間位かかる様になりました。冬の雪道の運転に不安を感じながらの通勤でした。二月に降った大雪の時は、人生初の電車通勤をし、電車が事故で不通の時は、帰宅に車で六時間もかか

り、いろいろな経験をして改めて自然の脅威を感じました。

四月になりとても暖かな日が続く、花の便りも各地で聞かれ賑わいを見せているようです。特に桜の花は愛でるだけでなく、八重桜は塩漬けして慶事に、佐藤錦はサクランボとして食し、葉っぱは桜餅にと良い香りがし、樹皮は工芸品にと変身し、とても楽しませてくれています。

通勤路でも多くの桜を見ることが出来、桜のピンク、

木々の芽吹き、緑、菜の花畑の黄色、北アルプスの雪の白と、素晴らしい景色の中、自然に元気をもらって、これからのような景色に変わって行くのかを楽しみに、今はドライブ気分まで通勤しています。

我が家では、家庭菜園二年目に入り、ジャガイモの植え付けをしました。これから色々な野菜作りにチャレンジし収穫まで頑張りたいと思います。

六町会 中村 知枝美